

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	建築人間工学小委員会		主 査 名：吉村英祐 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会		委員長名：布野修司
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築設計の基本となる人間の各部寸法、動作領域、心理・生理、行動能力、安全・安心等について広く英知を集め、安全・安心・快適な生活空間のあり方を考究する。 ・ 2004 年度：日常生活事故を科学的な視点から考究し、新たな知見の蓄積をはかる。 ・ 2005 年度：建築人間工学の視点から日常安全の水準のあり方を検討する。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 吉村英祐(大阪大学)、白石光昭(小山高専)、森 一彦(大阪市立大学)、古賀紀江(前橋工科大学)、後藤義明(積水ハウス)、齋藤芳徳(茨城大学)、佐野友紀(早稲田大学)、嶋田 拓(明野設備研究所)、武田雄二(愛知産業大学)、田中直人(摂南大学)、布田 健(建築研究所)、林田和人(早稲田大学)、増子順一(日本大学)、吉岡陽介(千葉大学)、渡辺秀俊(文化女子大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	建築人間工学基礎資料集整備 WG：建築人間工学に関する基本書籍のデータベース化、および建築人間工学の今日的役割に関するアンケートの実施と分析。		
2006 年度予算	317,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://www.kwassui.ac.jp/~ap/aij/index.htm	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 47 回建築人間工学研究会 日常世界の見直し—宇宙開発技術に学ぶ・参加者数 32 名 資料：研究会と同名の冊子 2. 第 48 回建築人間工学研究会 建築人間工学の役割 - パイオニアにきく - 参加者数 37 名 資料：研究会と同名の冊子および WG アンケート
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 研究会開催：開催回数は 2 回(当初計画では 3 回)。いずれも所期の成果をあげ、決算も黒字となった。[達成度 85%] 2. 小委員会開催：2/15 時点で 5 回開催。年度内にもう 1 回開催し、予定通り 6 回開催予定。第 47、48 回研究会の企画は所期の目標を達成。[達成度 90%見込み] 3. 建築人間工学基礎資料集整備 WG 開催：2/15 時点で 3 回開催。成果物としては、基本書籍リストの作成(年度内に完成予定) 建築人間工学の今日的役割に関するアンケート(第 1 回)を実施した。[達成度 80%見込み]
委員会活動の問題点・課題	1. 研究会の成果を広く一般に公表し社会に還元する手段として、また研究会の記録を残す場として、HP の充実を図るべきである。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。